

秋の月に癒されながら、また明日への活力に

DENKEN

発行 / 株式会社　電建
〒660-0805
兵庫県尼崎市西長洲町1丁目2-45
TEL：06−6489−2222
FAX：06−6489−2223
WEB：http://m-denken.com

With your company
でんけん倶楽部 NEWS

2026.10 第 145 刊

社長の独り言

視座を高める

松本 晃幸



9月に社員旅行でタイに伺いました。きっかけは2019年経営者仲間で、タイに精通しているご夫婦（Iご夫妻）からのお誘いを受けたことがきっかけでした。当時、私は国内の児童養護施設の定期訪問を始めたころでした。タイに行く目的はそのご夫婦がすでに交流のある、プラティープ財団の取り組みに触れることでした。プラティープ先生は16歳の時に、スラム街の子供たちが幸せになるためには、教育が必要と感じ、それを志として「1バーツ学校」を作られました。様々な困難を乗り越えられ、更に国会議員になったりされながら、現在も数多くの課題解決のために団体を主宰されています。

私は、4年前に高校生の新卒採用をしたことをきっかけに、『若者の視野を広げて、人生の視座を高めてもらいたい』と思い、そのチャンスをうかがっていました。そして今回の実現となったのです。

もちろんわが社の伝統として、社員旅行は学びの場として設定していますので、観光もありますが、たとえ旅行であっても、いかに学ぶか「遊びもど真剣に」です。今回も依然とほぼ同じルートを社員さんに体験していただきました。主要な場所は「生き直しの学校（児童養護施設）」と「プラティープ財団」訪問です。今回は奇跡的にプラティープ先生と旦那様に面会でき、素晴らしい時間を持つことが出来ました。

今回の旅行後の社員さんが書いてくれたレポートはどれも、自分たちがすでに幸せであること、どんな環境下でも人は笑顔で人生を進むことが出来るということ、世界の共通語は「愛」であることを感じてくれたようでした。電建社員の視座は高まったかなと思います。また必ず行きます！タイ最高でした。末筆ながらIご夫妻には心より感謝申し上げます。



※写真は7年前のものです

「プラティープ財団」▶
https://www.m-denken.com/jp/

今月の工事あらかると

キュービクルの塗装、なぜ必要？



工事部
國重 幸太郎

キュービクルは屋外に設置されることが多く、長年使用していると、紫外線や雨などの影響によって塗装が劣化します。

その代表的な症状が「チョーキング」です。チョーキングとは、塗膜が紫外線などによって劣化し、塗料の成分が粉状になって表面に現れる現象です。指で触ると白い粉が付くため、チョークの粉が付くようなイメージです。

キュービクルにチョーキングが見られる場合、塗膜の防護機能が低下している可能性があります。そのまま劣化が進むと、鉄製の筐体に錆が発生し、さらに腐食が進行すると、最悪の場合は筐体に穴が開いてしまうこともあります。筐体に穴が開くと、そこから雨水が内部へ侵入し、電気設備の故障や漏電、停電などにつながるおそれがあります。

キュービクルの塗装は、見た目をきれいにするだけではなく、大切な電気を長く安全に使用するための重要なメンテナンスです。

「最近、キュービクルの表面が粉っぽい」「錆が目立ってきた」という場合は、塗装の状態を一度確認してみることをおすすめします。



電建diary

初めての海外旅行



工事事務
中安 春奈

9月初旬に、タイへ社員旅行へ行ってきました！個人としては初めての海外ということもあり緊張とワクワクで当日を迎えました。

ところが、初日からトラブルの連続！

まず、飛行機がシステムエラーの確認により機内に8時間程待機する事態に…結果、欠航となり大阪のホテルに宿泊することとなりました。心身共に疲労は感じましたが、中々出来ない体験ができたとプラスに捉えることができました。

2日目は無事タイへ到着。空港から車に乗り、カンチャナブリ県へ。その日は生き直しの学校（児童養護施設）に1泊させていただきました。子供達が手料理を振る舞ってくれたり、一緒にダンスを踊ったり、周囲を散歩、一緒にビーズ作り等、とても大切でかけがえのない時間を頂きました。子供達は初対面の異国の大人に対し、満面の笑みで接してくれました。お互い言葉が通じない中でも無邪気に明るく接してくれる子供達を見て、自分の人に対する接し方について考えさせられました。今回の旅行で、日本とは違う文化や価値観に出会い、新たなものの見方を学びました。この体験を仕事やプライベートへ活かしていきます。



経営理念

夢への挑戦

私達は電気工事を通じて日本経済の発展を支え
関わる全ての人々の愛が溢れる社会を実現します

配信停止 QR

会社概要

社　　名	株式会社電建
所 在 地	〒660-0805　尼崎市西長洲町１丁目2-45
T　E　L	06-6489-2222
F　A　X	06-6489-2223
E-mail	info@m-denken.com
U　R　L	https://www.m-denken.com
事業内容	電気設備工事、空調・換気設備、通信関連設備 防犯・防災設備、その他電気機器販売

電建 HP
高圧専用サイト
でんけん YouTube チャンネル
電建 LINE 公式アカウント
でんけん TikTok
でんけん Instagram

知っトク情報



工事部
佐藤 友裕

タイの電気事情

先日行ってきたタイで感じた、日本との「電気事情」の大きな違いをお伝えします。

まず、タイの家庭用電圧は220V（日本は100V）。コンセントの形状は日本のプラグもそのまま挿せますが、日本国内専用の機器を繋ぐと壊れてしまうので注意が必要です。スマホの充電などは、ACアダプターに「INPUT：100V-240V」と書かれていれば、変圧器なしで普通に使えます。

また、街を歩いて驚いたのが「四角い電柱」です。丸い日本とは違うのには2つの理由があり、一つは「作るのが簡単だから」。もう一つは「四角いとヘビが登りにくいから」だそうです。

その電柱に繋がれている電線は、驚くほどの量がひとくくりに束ねられています。そのほとんどはネットや電話線のようですが、時々起きる洪水の際には感電の被害に遭われる方もいるとのこと。

やはり日本のように安全な状態とまでは言えないようで、日本のインフラのありがたみを改めて実感する体験となりました。



電建の風



総務経理部
佐藤 陽香

タイ研修旅行

9月3日～7日にかけてタイへ研修旅行に行ってきました。

今回のメインの訪問先は、カンチャナブリにある児童養護施設「生き直しの学校」と、元上院議員のプラティープ財団」です。その他にはバンコクにあるワットポー・ワットアルンの寺院にも行きました。

タイは日本と同じ仏教国ではありますが日本とはまた違った寺院で、とても神秘的。日本とは違った建築方法で圧倒される時間でした。

書ききれない程の多くの事がありましたが、タイという異国の地で異なる文化や現実を自分の目で見て話を聞き、「自分達が置かれている状況や未来を見据え、どう活かしていくか」を深く考える切っ掛けとなる旅でした。

（なお、旅行中には様々なハプニング（？）もありましたので、ぜひ社員へ直接聞いてみてください！）



電気工事士奮闘記

番外編：旅先九州で見つけた電線の色の違い



工事部
松本 雄大

先日、九州へ旅行に行った際、街中を歩いていてふと気になったことがありました。それは、電柱から建物へつながっている低圧線の「色」です。

普段、仕事で関西の電気設備を見慣れている私にとって、九州で見かけた青色の電線は少し新鮮に感じました。「電線の色は地域によって違うのだろうか？」と疑問に思い、調べてみることにしました。

電線の色には、電気の種類や相を識別するためのルールがありますが、実際の施工では、設備の仕様や施工時期、工事の基準などによって使用される色が異なる場合があります。そのため、「九州だから青色」という単純な決まりではないようですが、一部景観への配慮や九州電力独自の仕様として青いケーブルが採用されてきた過去があるようです。

普段何気なく見ている電線も、少し意識して見ると、地域や設備による違いに気付くことがあります。

電気工事の仕事をしていると、旅行先でもついつい電柱やキュービクルに目がいってしまいます。仕事柄の「職業病」かもしれませんね。



今月のちょっと一言

経営指針発表会を終えて



総務経理部
佐藤 陽香

8月末に開催いたしました発表会を終え、皆さまからいただいたアンケートや、当日のワーク「付箋にアウトプット」の内容を集計させていただきました。

そこには発表内容へのご感想はもちろん、私たち社員への温かいお言葉がいくつも綴られていました。

電建に入社して9年目になりますが、一般事務でありながらこれほど多くのお客様や協力業者の皆様とお会いでき、直接温かいお言葉をいただける今の環境は、本当にすごいことだと日々感じています。

思い返せば、入社1年目の4か月後には発表会の司会を務める機会をいただくなど、これまで自分にとって初めての貴重な経験を数多く重ねさせていただきました。皆様からいただくお言葉は、いつも私の大きな励みになっています。

電建に関わる方々は本当に素敵な方ばかりだと実感しますが、こうした素晴らしいご縁は決して当たり前ではないからこそ、その感謝の気持ちを胸に、皆さまと共に成長できるようより一層励んでまいりたいと思います。



笑顔盛り

インターンシップ続々と



総務経理部
中島 依里

七月・八月の夏休みを利用して、高校生四名・大学生一名の計五名が、日程はバラバラですが、電建にインターンシップに来てくれました！

「電建での経験を通して、働くことに少しでも興味を持ってもらえたら嬉しいな」と思っていた矢先、先日高校生からお礼の手紙が届きました。手書きで綴られた文面を読んでいると、大変心が温かくなりました。

さらに、九月末にはハローワークに掲載中の求人票をきっかけに電建に興味を持ってくれた若者もインターンシップに来てくれました。

その方が面談に来られた際、なんと電建のホームページを隅々まで読んでから来て下さったのです。タイへの海外研修の日程についても、しっかり把握されていました。ホームページに掲載している本誌〝でんけん倶楽部NEWS〟も過去3カ月より前のものも読みたいと言って下さり、バックナンバーも持ち帰られました。

インターンシップやホームページ、本誌など、私たちが発信する一つひとつのものが、若者達と電建をつなぐきっかけになっていることを実感した嬉しい出来事でした。



